



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 俊也
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 柏 正孝 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	4,365	△0.3	△123	—	△1	—	235	—
2020年9月期第1四半期	4,378	△13.7	△327	—	△281	—	△40	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 △42百万円(—%) 2020年9月期第1四半期 28百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	9.61	9.52
2020年9月期第1四半期	△1.66	—

(注) 2020年9月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	33,566	29,634	88.0
2020年9月期	34,519	30,264	87.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 29,525百万円 2020年9月期 30,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	14.00	—	24.00	38.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	16.00	—	24.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	8.2	2,100	68.0	2,200	51.7	1,500	4.3	61.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	26,085,000株	2020年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	1,484,108株	2020年9月期	1,589,902株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	24,504,688株	2020年9月期1Q	24,485,701株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

“はかる”ことは、新しいモノ・コトを創り出すために欠かすことのできないプロセスであり、当社グループは、最先端の“はかる”技術のプロフェッショナル集団として技術革新や環境安全に貢献してきました。先端計測技術・機器の輸出入販売をベースとし、自社システム製品・ソリューションの開発によって、日本市場だけでなく中国を中心としたアジア市場や米国市場にも進出し、当事業の拡大に注力しています。

また、当期は中期経営計画(目標数値:売上高260億円、営業利益20億円、ROE5.0%)の最終年となります。新型コロナウイルス感染拡大(以下、「感染拡大」という。)による自粛ムードや感染再拡大の影響はありますが、期初計画及び中期経営計画を達成すべく事業を推進しています。

この結果、当社グループの経営成績は、連結売上高は43億6千5百万円(前年同四半期比0.3%減)となりました。この内、国内売上高は40億4千3百万円、中国や米国向けを中心とした海外売上高は3億2千2百万円となりました。

利益面では、営業損失1億2千3百万円(前年同四半期は3億2千7百万円の営業損失)、経常損失1百万円(前年同四半期は2億8千1百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億3千5百万円(前年同四半期は4千万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

各事業のセグメントごとの業績は、次のとおりです。

(情報通信/情報セキュリティ)

情報通信におきましては、注力している5G(第5世代移動通信システム)及びローカル5Gの領域では、通信事業者や機器製造会社などからの試験装置や検証システムの受注は大きく伸長しており、第2四半期以降の売上を見込んでおります。自社製品SYNESISについては、低価格製品との競合が見られますが、製品優位性やサポート体制への評価から引き続き伸長しました。重点的に取り組んでいるソフトウェア製品のサブスクリプションビジネスも順調に伸長しました。情報セキュリティにおきましては、感染拡大の影響により一部案件が遅延しましたが、受注は増加しました。この結果、売上高は10億8千8百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益は2百万円(前年同四半期は1億6千4百万円の営業損失)となりました。

(機械制御/振動騒音)

機械制御/振動騒音におきましては、自動車会社における振動・騒音など従来の研究開発分野への投資縮小に加えて、感染拡大による購買延期や中止があり売上が減少しました。一方、受注におきましては研究開発用センサーを中心に回復も見えてきました。この結果、売上高は9億9千1百万円(前年同四半期比9.0%減)、営業利益は1億1千1百万円(前年同四半期比25.2%増)となりました。

(物性/エネルギー)

物性/エネルギーにおきましては、自動車向け全固体電池やパワーエレクトロニクスの評価システムのニーズは引き続き好調でした。また、注力している電池の基礎研究分野向け自社開発システムの受注も大幅に伸びました。大型案件の出荷も順調で、売上も大幅に増加しました。この結果、売上高は8億7千1百万円(前年同四半期比36.0%増)、営業利益は2千2百万円(前年同四半期は1億3百万円の営業損失)となりました。

(EMC/大型アンテナ)

EMCにおきましては、大型案件が少なかったことにより、販売は減少しました。アンテナ計測におきましては、無線評価システムの5G対応及び自動車向け通信性能評価設備を計画通り販売することができました。中国においては、顧客の設備環境が整わずに納入が遅れるケースはあるものの、自動車向けOTA関連など設備投資は回復基調となっています。この結果、売上高は7億2千8百万円(前年同四半期比17.2%減)、営業利益は7千9百万円(前年同四半期比88.6%増)となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機におきましては、感染拡大により現場でのデモンストレーション実施が困難になるなど、受注低迷の要因になっておりましたが、営業方法の工夫などが実を結び回復基調にあります。この受注の回復に伴い、今後売上も増加していく事を見込んでおります。この結果、売上高は2億2千1百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業損失は5百万円（前年同四半期は2千6百万円の営業損失）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、ゲーム業界におけるソフト開発エンジニアのテレワーク増加に伴い構成管理ツールのライセンス追加販売などが大きく増加しました。エンタープライズ向けのセキュリティ脆弱性検査ツールのサブスクリプション販売も、堅調に推移しました。一方、自動車業界向けのソフトウェア検証ツールの販売は、一部の自動車関連企業での購入見合わせなどの影響を受け減少しました。この結果、売上高は2億9千万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は5千7百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

(ライフサイエンス／マテリアルズ)

ライフサイエンス／マテリアルズにおきましては、医療機関向けは、重要製品である胸部読影支援システムや整形外科用プランニングツールの販売が伸長しましたが、医療機器メーカー向けOEM販売は減少しました。ナノ分析装置関連は、大型案件となる新型プラズマ走査顕微鏡を受注し、第3四半期以降の売上を見込んでおります。しかしながら、感染拡大により顧客サンプルの測定が実施できず、他の装置販売は低調に推移しました。この結果、売上高は1億7千2百万円（前年同四半期比19.5%減）、営業損失は4千6百万円（前年同四半期は6千4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億5千2百万円減少し、335億6千6百万円となりました。主な増加要因は、有価証券の増加8億6百万円、商品及び製品の増加5億3千2百万円等によるものです。一方、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少4億8千6百万円、投資有価証券の減少18億6千9百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億2千2百万円減少し、39億3千2百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加4千4百万円、流動負債のその他の増加2億9千2百万円等によるものです。一方、主な減少要因は、未払法人税等の減少3億9千7百万円、賞与引当金の減少1億7千1百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億2千9百万円減少し、296億3千4百万円となりました。主な増加要因は、自己株式の減少1億1千3百万円によるものです。一方、主な減少要因は、利益剰余金の減少3億8千5百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億4千9百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月2日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,880,472	3,957,894
受取手形及び売掛金	4,216,040	3,729,355
有価証券	5,218,677	6,025,309
商品及び製品	1,612,361	2,144,471
その他	478,173	509,238
貸倒引当金	△400	△400
流動資産合計	15,405,326	16,365,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,991,298	4,991,298
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,926,184	△2,948,440
建物及び構築物(純額)	2,065,114	2,042,858
車両運搬具	60,671	60,671
減価償却累計額	△44,295	△45,753
車両運搬具(純額)	16,376	14,918
工具、器具及び備品	3,810,862	3,893,349
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,067,935	△3,146,468
工具、器具及び備品(純額)	742,927	746,880
土地	5,607,940	5,607,940
有形固定資産合計	8,432,358	8,412,598
無形固定資産		
のれん	109,906	103,232
ソフトウェア	812,251	747,110
ソフトウェア仮勘定	150,923	168,918
その他	14,967	14,897
無形固定資産合計	1,088,049	1,034,159
投資その他の資産		
投資有価証券	6,981,250	5,111,597
退職給付に係る資産	592,510	595,370
繰延税金資産	726,184	747,677
長期預金	700,000	700,000
その他	707,072	726,774
貸倒引当金	△113,101	△127,175
投資その他の資産合計	9,593,916	7,754,244
固定資産合計	19,114,324	17,201,002
資産合計	34,519,650	33,566,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,246,731	1,291,166
未払法人税等	426,689	28,896
賞与引当金	451,481	280,000
役員賞与引当金	74,700	15,300
その他	1,308,271	1,600,564
流動負債合計	3,507,873	3,215,927
固定負債		
退職給付に係る負債	650,952	656,815
その他	96,360	59,659
固定負債合計	747,313	716,475
負債合計	4,255,187	3,932,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	22,691,789	22,306,556
自己株式	△1,712,762	△1,598,800
株主資本合計	29,740,527	29,469,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,748	111,966
繰延ヘッジ損益	△1,964	△15,811
為替換算調整勘定	△63,900	△68,376
退職給付に係る調整累計額	37,801	28,351
その他の包括利益累計額合計	333,685	56,129
新株予約権	190,251	109,082
純資産合計	30,264,463	29,634,468
負債純資産合計	34,519,650	33,566,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	4,378,022	4,365,525
売上原価	2,501,672	2,349,542
売上総利益	1,876,349	2,015,982
販売費及び一般管理費	2,204,326	2,139,931
営業損失(△)	△327,977	△123,948
営業外収益		
受取利息	5,892	22,621
受取配当金	26,862	83,578
為替差益	25,559	1,566
その他	12,844	21,185
営業外収益合計	71,159	128,952
営業外費用		
支払利息	1,107	842
持分法による投資損失	23,566	5,652
その他	—	21
営業外費用合計	24,674	6,516
経常損失(△)	△281,492	△1,512
特別利益		
固定資産売却益	1,424	586
投資有価証券売却益	262,720	338,409
特別利益合計	264,145	338,995
特別損失		
固定資産処分損	4,258	0
特別損失合計	4,258	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,605	337,482
法人税、住民税及び事業税	3,000	3,000
法人税等調整額	15,960	99,026
法人税等合計	18,960	102,026
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,566	235,455
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,566	235,455

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,566	235,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,083	△249,781
繰延ヘッジ損益	47,489	△13,846
為替換算調整勘定	825	△4,021
退職給付に係る調整額	228	△9,450
持分法適用会社に対する持分相当額	862	△454
その他の包括利益合計	69,489	△277,555
四半期包括利益	28,923	△42,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,923	△42,099
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	1,060,950	1,089,729	640,915	879,801	228,121
セグメント利益 又は損失(△)	△164,322	88,780	△103,502	42,394	△26,492

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	263,776	214,727	4,378,022
セグメント利益 又は損失(△)	△1,735	△64,624	△229,501

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△229,501
全社費用(注)	△98,475
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△327,977

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	1,088,961	991,728	871,332	728,670	221,891
セグメント利益 又は損失(△)	2,633	111,135	22,447	79,956	△5,616

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	290,182	172,757	4,365,525
セグメント利益 又は損失(△)	57,908	△46,103	222,362

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	222,362
全社費用(注)	△346,311
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△123,948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。